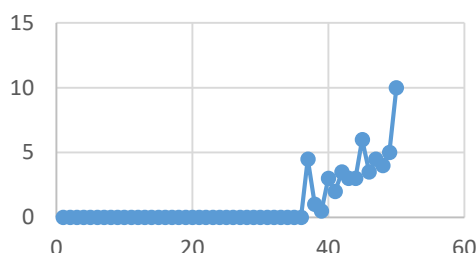


伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

警報
発令中！

県内では10月以降から感染者数が増え、
現在も流行が続いております。予防しましょう！

伝染性紅斑の気仙沼管内流行状況



気仙沼管内でも
37週（9月上旬）
から感染者が増え、
現在も高止まりです。

✓伝染性紅斑（リンゴ病）とは？

原因：ヒトパルボウイルス B19 により感染。

症状：両頬に境界鮮明な紅い発疹（りんご病の俗名がある）、
続いて、手足に網目状・レース状の紅斑が現れる。
成人では関節痛・頭痛が現れることもある。
頬に発疹が出現する7～10日くらい前に、微熱や感冒
様症状などの前駆症状が見られることが多い。

好発年齢：幼児・学童を中心に流行。

※妊娠中（特に妊娠初期）に初めて感染した場合、まれに胎児の
重症な心不全（胎児水腫）や流産を引き起こすことがあるため
感染対策が大切です。

✓どのようにうつるの？

〔飛沫感染〕患者さんの咳・くしゃみに含まれるウイルスを
吸い込むことで感染。

✓対応は？

- 1 咳が出るときはマスクの着用をするなど、咳エチケットを
心がけましょう。
- 2 石けんと流水による手洗いを心がけましょう。



てもあらおう